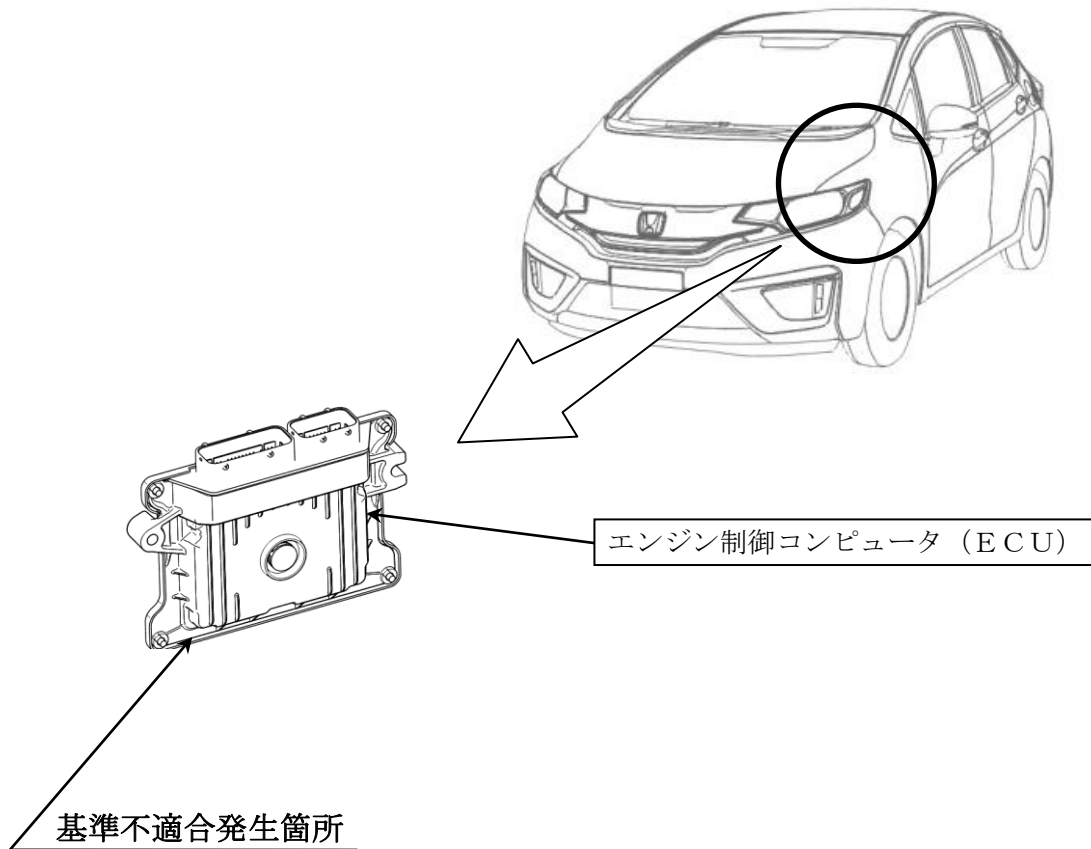


改善箇所説明図



エンジン制御コンピュータ (ECU) のプログラムが不適切なため、

- ① ECUが検知し学習しているクラッチ推定摩擦特性と実クラッチ摩擦特性がずれた状態で、EV走行モードでの走行中にモータ駆動でエンジンが始動した際、モータから過大な駆動力が発生することがある。そのため、運転者が意図せず車速が一瞬増加するおそれがある。
- ② エンジン走行モードでの停車中にシフトレバーをDまたはRに操作して発進する際のギヤの噛み合い動作の間や、EV走行モードで急勾配の坂道にゆっくり進入し、一時停止してエンジンが始動した時、アクセルペダルを強く踏込んでいると、モータから過大な駆動力が発生することがある。そのため、車両が急発進するおそれがある。

改善の内容

全車両、エンジン制御コンピュータを対策プログラムに書き換える。

注： は書き換え部品を示す。

識別：運転席側ドアロアヒンジ上側ボルト頭部に黄色ペイントを塗布する。